

第14回
南越谷地区総合防災訓練
主催 南越谷地区コミュニティ推進協議会
南越谷自治会連合会

いつ見舞われるか分からない災害に備えて毎回参加

3月8日(日)大規模地震を想定した第14回南越谷地区総合防災訓練が南越谷小学校校庭で実施されました。

26自治会合計949名が参加し、三角巾を使用した応急救護訓練、最近はどこにでも見かけるAEDの使い方、毛布を使った救急搬送、初期消火では消火器の使用訓練とバケツリレーを消防士の指導で行いました。

訓練に先立ち、越谷市消防署蒲生分署の今井中隊長より次のようなアドバイスがありました。敷地内に燃えやすいものを置かない。決められた時間にゴミを出す。調理中の火に注意、これらは未然に防げることなので気をつけましょう。

はしご車搭乗体験では、地上39メートルの高さまで上がります。多くの子ども達が体験し「あまり怖くなかった」、「埼玉スタジアムが見えた」など興奮気味に話していました。女性の体験者からは「立ち並ぶ家を見て、もし災害が起きたら……、防災も大変でしょう」との声も聞かれました。

起震車震度体験者からは、「マグニチュード7クラスの揺れは考えていた以上怖いですね」、「急に大地震

がきたら冷静でいられるかしら、普段から心がけないと」の感想をもらいました。

「地震大国日本」いつ見舞われるか分からない災害に備えて毎回参加することが心の準備になると実感しました。最後に越谷市消防本部の大野消防長より最近の災害状況が報告され、次のように講評がありました。

訓練に参加することによって防災意識を高め、一人一人が火を出さない、起こさない。家族みんなで火元を確認し合うのが大切。逃げ遅れを防ぐための住宅火災警報器を設置し、大事に至らなかつたケースが多い。またAEDを使用したことにより多くの命が助か

っている。AEDの使用方法は、いつでも連絡をもらえば講習に伺うのとでした。

また市役所協働安全部危機管理課からは、防災無線を使った「緊急地震速報」と「弾道ミサイル情報」の音声による案内がありました。これは「防災越谷」で放送されます。

訓練終了後、コミュニティ推進協議会協力者による炊き出し訓練の「すいとん汁」が参加者全員に、「アルファ米」と「カンパ

ン」が自治会毎に配布され、寒い曇り空の中で冷えた体にはうれしい一杯となりました。

M・K



力を合わせて



的をよくねらってね



救急救命



マグニチュード7体験



さあ、はしご車に搭乗



アルファ米お湯を注いで一喜一憂



温かいすいとん汁をどうぞ

第9回 まちづくりシンポジウム事例発表

みなさんにも見ていただきたい内容

2月21日(土)越谷中央市民会館にて第9回まちづくりシンポジウムが開催され、市内13地区コミ協のうち、南越谷を含む7地区が約1200人の参加者の前で事例発表を行いました。

1チームが15分という短い制限時間の中でプロジェクターなどを使い、自分達が活動してきたことをそれぞれ工夫をこらして発表しました。

なかには、広い畑を借りて、一年を通し花の苗から自分達で作る花いっぱい運動や「こどもの日」に合わせ、元荒川の広い河川敷を利用して800匹ものこいのぼりを泳がせた地区、フェスティバルでパトカーを展示した地区などの事例あり、興味深い発表でした。

南越谷地区は、毎年11月に行っている南越谷地区フェスティバルや12月のパレットコンサートなど年間事業を部会担当毎に紹介し、これらの様子をコミ協委員が一生懸命に取材し、手作りの広報紙を制作するまでを発表しました。

参加者は全てコミ協委員でしたが、このようなコミ協活動状況の発表は、むしろ南越谷地区のみならずにも見ていただきたい内容で、さっそく七左二丁目と南越谷四・五丁目自治会を訪問してご覧いただきました。 T・O



七左二若草自治会

防災の取組み

ボヤのバケツリレーがきっかけ

七左一若草自治会の自主防災部は平成6年4月に設立され、組織は本部と消火・救出救護・避難誘導・給食給水に防犯を加えたものです。その各担当責任者は自治会の役員と各区長とし、担当員は各班長で構成されています。

自主防災発足のきっかけは、平成6年6月9日、市立七左保育所「のボヤ発生時、住民による通報・初期消火バケツリレーで類焼もなくすみしました。(消防署より感謝状を頂く)

その後も2件のボヤ騒ぎがあつて、早急に防災関連を立上げる事となりました。この事から防災部では「初期消火活動」を重点としています。

現状では、自治会の見取図を作成し、消火器・防災倉庫の位置・路地などを明確にし、火災警報器をほぼ各家庭に設置(自主防災部で一括手配、取付まで実施)しました。

毎年12月は谷中消防署の協力を得て独自の防災訓練をし、同時に自治会内の健全会クリニックのご協力を得てAEDの使用訓練をしています。

半田自治会長は、今後の課題として、自治会の置かれている立地から考え、水害対策も大きな課題であり綾瀬川・出羽堀浄化対策の推進を力説されていました。

T・N



「振り込め詐欺撲滅」

街頭キャンペーン実施

みなさんが被害にあわない様に願う

雨降る寒い2月23日(月)南越谷駅・新越谷駅街頭で越谷市防犯協会・越谷警察署の主催による「振り込め詐欺撲滅」街頭キャンペーンが行われました。

これには南越谷地区コミュニティ推進協議会・南越谷地区地域防犯推進員をはじめ7団体と越谷市・越谷警察署を含めた官民一体となつて総勢90名で参加しました。

実施に先立ち、板川越谷市長・青木越谷警察署長より挨拶があり、参加者が道行くみなさんに振込め詐欺被害防止のチラシとポケットティッシュを配布しながら、「振込め詐欺の被害に注意しましょう」と呼びかけました。

越谷市における振り込め詐欺被害は、表の通り減少していますが、不慣れな高齢者などを狙い手口も巧妙化しています。

みなさんが被害にあわない様にと願つての実施でした。 T・N

被害件数と金額

H19年	H20年	H21年1・2月
99件	50件	5件
17,000	7,300	715

単位(万円)



花いっぱい運動

花言葉「心の平和パンジー」

前日の大雨がうその様に晴れわたった3月7日(土)コミ協環境・衛生部会担当による、「花いっぱい運動」今年度3回目の催しが行われました。

ボランティア活動実習の富士中生徒115名、保護者を含めた地域の参加者50名で、鳩ヶ谷別府線沿いと東武線下の植え込みを前回植えた花の手入れをすると共に、ゴミ拾いをみんなで行いました。

元気な女の子の黄色い声が行きかい、ビニール袋一杯のゴミ収集をした後のぼり旗「街をきれいにしましょう」を掲げ、新越谷駅周辺の道行く人々に、黄色・紫色・紅紫色のパンジーの苗鉢を手渡し、美しく、綺麗な街づくりをしましょうと大きな声で呼びかけました。

この様な運動は根気よく回を重ね、地区の皆さんに知っていただくことが大切です。花いっぱい運動が南越谷地区全域で行われれば、すばらしい街となると思います。花いっぱい運動参加者にとり、がとう！

R・N



茜町会の防犯・防災活動の取組み

維持・定着の大切さと大変さ

茜町会では、児童見守り隊、夜間パトロール、防犯灯・消火器の点検・修理、歳末夜警、南越谷地区防災訓練や炊き出し訓練などその都度多数の協力者・参加者を募って実施しています。

中でもほとんど毎日行っている活動では気力・労力・気苦労など、やってみなくては解らない悩みも多く、継続・定着するのは大変です。責任者は協力者を募り、自らも行動します。特に毎日行う下校時の児童見守り隊や月に2回の夜間パトロールは、オレンジ色のパトロール帽をかぶり、防犯パトロールのベストを着用、目配り・気配り・思いやりで安心・安全なまちづくりへの努力と協力をしています。

これらの活動について今年、埼玉県から越谷地区代表として茜町会が永年にわたる防犯・防災活動を評価され、上田知事より感謝状をいただきました。

活動の継続はみなさんからいただく、「こ苦労さん、ありがとつ」の声に励まされて続くものです。協力者に感謝！感謝！

T・O



55歳からのパソコン講習会

意欲満々の高齢パワー

コミ協福祉部会担当の第6回パソコン講習会が3月3日(火)より3日間NPO越谷生涯学習民間ネットワーク協会の講師により実施され、基礎コース16名応用コース12名が受講しました。

基礎コースには初めての人の、家族のパソコンをちょっと触った程度の人です。「ワード」で案内状の作成に挑戦しました。マウスの使い方から始まり、文字変換・図表挿入まで悪戦苦闘しながら懸命に取り組んでいました。

応用コースにはワープロ経験者、家庭でパソコンを使っている人と持参の人です。馴れた手つきでポスター・図面・イラスト作成・資料のダウンロードなどを講師の指導で確実に習得していました。休憩時間も熱心に質問・指導を受けていました。

3日間終わってもまだ物足りない様で、その感想は「パソコンは面白くて楽しい」でした。

T・N



防犯ハンドブック配布される

一人一人の防犯意識を行動に移すキッカケづくりとして発行

みなさんに配布しました。

犯罪は私たちの日常生活の場で多く発生しており、犯罪を防ぐためには私たち一人一人が防犯意識をしっかりと持ち、行動することが大切です。犯罪はちょっとした気遣いで防げます。この防犯ハンドブックがこれらのヒントを教えてください。 T・O

3年前、南越谷地区コミ協が実施した「防犯に関するアンケート調査」で、色々な要望やご意見が多数記述されました。

そこでコミ協防犯部会では、みなさんの防犯意識を行動に移すキッカケづくりと新設した防犯部会の役割を記述した防犯ハンドブックを作成し、



成人式

華やかに大人の仲間入り

1月11日(日)午前11時から市立富士中学校体育館において、多数の来賓の出席のもと、平成20年度の南越谷地区成人式が執り行われました。

越谷市の新成人は3228名、南越谷地区では男子147名、女子165名、参加者は男女あわせて221名、出席率70・8%で、式典は肅々と無事行われました。

式典では新成人の実行委員深谷亜弓さんの司会で、飯島孝子実行委員長の開会のあいさつ、市長から式辞、市議会議長から祝辞があり、新成人に向けてお祝いと「明るく心豊かにこの困難な時代に立ち向かってもらいたい」「これからの社会を自らの手で作る意思を持って進んでもらいたい」「目標をもってチャレンジして欲しい」など期待の言葉が述べられました。

これに対して実行委員を代表して柳沢美咲さんから「感謝の気持ちを忘れずに自覚と責任をもって努力していきます」と誓いのことばがありました。

来賓紹介では、恩師の先生の紹介の時、一段と大きな拍手と歓声が上がっていました。式典後の茶話会では恩師を囲み、また久しぶりに会う仲間との輪ができ和やかなひと時となりました。

S・H



市長の式辞(吉田茂教育長)



誓いの言葉(柳沢美咲さん)

地区一斉清掃

コミ協環境・衛生部会担当 3月15日(日)

この日は、前日からの嵐もおさまり、すっきりと晴れ上がりました。早い自治会では、8時より清掃が始まり、慣れた手つきで歩道に溜まった落ち葉などをかき集めています。

昨夜吹き飛ばされたと思われる壊れた傘が多く拾われてきました。一つ一つは必ずして分別します。特に泥は、重いし分けるのも大変です。

武蔵野線沿いでは、バイクや布団が捨てられており市の方にお願しました。 C・A



第27回

彩の国・21世紀郷土かるた



南越谷地区大会

県大会(彩の国くまがやドーム)へ 3月22日(日)

第27回彩の国・21世紀郷土かるた南越谷地区大会が12月21日(日)雨降る寒い中、南越谷小学校体育館で行なわれました。

団体高学年17チーム、低学年21チーム、個人高学年20名、低学年17名が参加し、団体戦はチーム4名で戦いました。かるたを上げると、会場はたちまち熱気に満ち、寒さを吹き飛ばしていました。

白熱した大会の結果、団体4チーム、個人4名が越谷中央大会に出場、鹿又さん(杉の子)が優勝、茜町Aチームが準優勝し、更に県大会出場しました。個人戦は決勝リーグに、団体戦は予選リーグに進出し健闘しました。 T・N

編集後記



安全・安心なまちづくりには、地域の人々が協力し合うことの大切さを痛感します。何事もなく過ごす毎日が、地域の人々の助け合いに支えられていることに改めて感謝します。これからも、防犯・防災へのご協力をお願いします。 T・U

ボトルキャップ回収報告

累計で770,280個

ポリオワクチン962人分となりました。NPO法人エコキャップ推進協会から感謝状贈呈式(4/29)のご案内がありました。 A・T



期間:H19.12.1~21.2.19